事業所名： たのしい家　吉祥院

作成日： 令和　4年　 8月　 6日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	職員により介護記録の内容と記述頻度に大きく違いがある。	利用者様の変化や発語に注目し、記録へ残すことができ、チームへ発信・共有していく事ができる。	記録に対する勉強会を行い、記録のポイントや共有の必要性を学ぶ。また、OJTでも指導を適宜行っていく。	6ヶ月
2	26	介護計画書をしっかり把握できていない職員が存在し、介護計画に対する取り組みについても理解が浅い。	チーム全体が介護計画の課題に対する意見を持ち、話し合いのもとで決定したケアを実践し、新たな課題抽出へと繋げる事ができる。	毎月実施しているフロアミーティングでは自分の意見が言える場となるよう出席できない職員には書面での提出を募り、日常の中でも意見交換ができる時間を作る。（ケアマネジャーが計画作成の日など）	6ヶ月
3	48	個々の役割を十分発揮できていない。職員配置人数が少ない日は職員がメインとなる日常の流れとなっている時がある。	業務中心とならず利用者様のペースに合わせ、個々のできる事を継続できるよう支援する。	利用者様ができる事をチーム全体で再度話し合い、提供できるようにし、役割を持ち生活の中に楽しみができるよう実践していく。	3ヶ月
4	4	コロナ禍で運営推進会議への参加ができないまま過ぎているため、現在地域住民で参加可能なメンバーの把握ができていない。	直接の参加は難しくても交流は保て、運営推進会議の参加や施設イベントなどへの参加もしっかり促すことができる関係作りが整う。	現在活動されている民生委員や自治会長などの把握、関係性が薄れてしまっている方へのアプローチを進める。また、運営推進会議ではWEBを使用した参加方法なども検討していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。